

2024年
146号

令和6年4月1日
発行

OCHIHO KAI
 落穂会だより

社会福祉法人 落穂会



- P2. 春山郷土芸能保存会の紹介
- P3. My Field (マイフィールド)
- P4. さんぼみち
- P6. SNAPスナップ・TOPIX (トピックス)
- P7. 経営理念を实践へ ～社会福祉法人落穂会「実践報告」のご紹介～
- P8. 20歳のお祝い
あすもね家「抹茶パンケーキ」
ぎゃらりーASAHIYA「ASAHIYA クリアファイル」
社会福祉法人落穂会の事業所一覧





春山郷土芸能保存会の紹介



①春山郷土芸能保存会は

園児～大人まで現在30人で活動しており、地域に伝わる「棒踊り」の継承、奉納を行っています。

②棒踊りとは

昔は五穀豊穡、戦の勝利祝い、武術訓練の目的で行っていましたが、現在では文化遺産の継承、地域の安全安心祈願、地域活性化が主であり、目的も変わってきています。

③春山棒踊りの歴史

春山棒踊りの歴史は400年前から始まったとされていますが、資料もない為、定かではありません。昭和15年に戦争を理由に途絶え、昭和45年に復活しましたが、少子高齢化、過疎化のため踊り手が減少し、平成8年にふたたび途絶えています。

④春山郷土芸能保存会の発足

平成27年に春山郷土芸能保存会が発足し、棒踊りが19年ぶり2度目の復活をしています。保存会発足に関して、今は子ども達も少なくなったこと、スポーツや塾で時間も取れない、教える側も高齢化で協力が得られないなどの意見も多くありましたが、踊りを地域芸能として残したい、子どもたちの育成が期待できるという前向きな意見が後押ししました。現在、保存会のメンバーが地域の中心になって来ており、地域活性化に十分役立ってきていると感じます。

⑤私たちに出来ること（GH職員 外員）

入居施設やGHの利用者も一人の地域住民だと思います。住んでいる地域の事を知る事は地域に馴染む一歩です。郷土芸能について知り、興味を持つ人を増やす事で、一丸となり、地域を盛り上げる手伝いが出来たらと思います。

利用者インタビュー

Q&A

片野 優作さん
今村 光良さん
新福 孔一さん

Q 棒踊りに参加したいと思ったきっかけは何ですか？

A 今村：祭りの舞台上で踊っているのをみて、踊ってみたいと思った。

A 片野：グループホームの支援員が地域の人と踊っていて、カッコいいと思ったから。

A 新福：棒を回していてカッコよかった。

グループホーム利用者も今年度より練習に参加し始めました。地域の方から手取り足取り丁寧に踊りを教えてもらい、楽しく参加をしています。

Q 棒踊りは楽しいですか？

A 3人：教えてくれる地域の人優しいし、面白いから楽しい。

Q これからも踊りは続けたいですか？

A 3人：これからも続けて、お祭りで踊りを披露したい。頑張ります。

春山郷土芸能保存会インタビュー

Q&A

米山 光明さん（郷土芸能保存会副会長：棒踊り師匠）・多恵子さん
春山 昭則さん（春山地区副会長：棒踊り歌い手）

Q 郷土芸能保存会の今後についてお話を聞かせて下さい

A 今はこの形を如何に継続していくかと思っている。踊りをする人、保存会メンバーの維持が出来ないと継続は難しいと思う。将来的に春山以外にも棒踊りをしている地域があるので、その団体と合同ですとか考えていくかもしれない。

今、私達は折角ある伝統芸能を継承していく事は大事ではないかという考えを持っている。一つの事をするのに対して皆で集まって同じ気持ちですることで、方向性が同じになっていくと思う。それに今の世の中は人との繋がりが弱いと感じるけど、棒踊りがある事で人との繋がりを知る事ができる。施設の方（利用者、職員）も楽しんで棒踊りに参加して、この輪を広げていこうと考えてくれたら嬉しい。自分たちも元気が貰える。

Q 現在、グループホームの利用者が棒踊りに参加していますが、印象はどうですか？

A 春山地域にいくつかの施設があって、行事などに参加してもらい、有難く思う。しかし、施設の利用者さんとの交流となると中々接する機会がないように感じていた。

今回、棒踊りに参加してもらったり見学に来てくれると顔見知りになるし、変な偏見を持つことなく関わりを持てる。地域の人達と施設の人たちが共存できる仕組みを考えていくことが大切なんじゃないかと思っている。

ただ、棒踊りの継承と考えると誰でもとなると難しい。施設の方も本腰をいれて、自分たちが棒踊りの指導を行えるようになってもらいたい。参加して雰囲気を感じるだけではなく、施設としてどんな目標や目的を掲げているかを考えて参加してもらいたい。もちろん地域で協力していきます。



米山 光明さん・多恵子さん



春山 昭則さん



練習、おはら祭り参加の様子



川上小学校 郷土芸能学習



マイ フィールド My Field



あさひが丘学園
ABユニットチーフ

中林 未穂子さん

Q 1 入社して何年ですか。現在の部署も教えてください。
今年8年目です。入社後ずっと児童部です！

Q 2 そうなんですね。あさひが丘入社前は何をされていたか？

最初は「栄養士」をしていました。その後、「ドレスコーディネーター」というお仕事をしていました。

Q 3 栄養士だったのも驚きですけど、「ドレスコーディネーター」とは？

新郎新婦さんや列席の方の衣装をコーディネートするお仕事です。色んな式場と提携してお客様のドレスを決めていただくという内容です。

Q 4 色んな仕事がありますが、指導員の経歴としては中々珍しい職種ですね(笑)今のお仕事でその経験が活かされていることはありますか？

栄養士としての経験は、現在、子どもたちとの調理実習が月に2回あるので、子どもたちへ食材の事だったり栄養面の事など学んだ事を一緒に調理をしながら教えられるのでやっていてよかったと思えるところです。また、体が資本ということも学んできて、感染症が流行している中、自分自身の健康維持の面でも現在の支援に活かされていると感じます。

Q 5 確かに、健康的でないと、支援者として存分に力を発揮できないですね。ちなみに、健康の為に何かおすすめはありますか？

R-1がおすすめです！

Q 6 ヨーグルトのR-1ですか？

はい！腸が元氣だと体も元氣になるので、ホントにおすすめです。私も1日1本365日飲んでいきます！（笑）

Q 7 毎日欠かさずですか？（笑）私も試してみます！ありがとうございます。ドレスコーディネーターの話もとても気になります。今のお仕事に活かしていることはありますか？

接客業でしたので、社会人としてのマナーや第一印象の大切さを学んだことは今も大事にしています。電話の時はいつもよりワントーン上げて、玄関で対応するときはまずは笑顔で挨拶を心掛けて、話しかけやすい雰囲気を持てるように意識しています（笑）

Q 8 いつもの笑顔は、前職の経験も大きかったのですね。今回のインタビューも快く引き受けていただきありがとうございます！最後にメッセージをお願いします。

全く違う世界を経験してみたいと思いから福祉のお仕事を始めて、最初は子どもたちとも関係性が取れていない中で戸惑う事もありましたが、少しずつ子どもたちと信頼関係が出来てきて、やりがいにつながり楽しい仕事だなと思う事がとても増えてきました。これからも、ここにいる子どもたちの笑顔の為に私にできることを精一杯頑張ります！

あと、みなさん、R-1飲んでください！
ありがとうございました。

嶋本 こころ さん



私は、学園生活の最初のころは、本当に荒れていました。しかし次第に自分でも驚くくらいに成長することができたと感じています。大変だった

思い出もたくさんありますが、楽しい思い出もたくさんできました。

3月には鹿児島特別支援学校高等部を卒業し、4月からは就労継続支援A型で希望する調理の仕事をするようになりました。住む場所もグループホームへ移りますが、新しい場所に行っても絶対に皆のことは忘れません。大変なこともたくさんあるかと思いますが、皆も自分らしく、楽しみながら頑張ってください。

本当に6年間お世話になりました。また学園にも遊びに来ます。

保佐人・池田 友紀 さん

この春、こころさんは「社会人」として新しい生活をスタートさせます。あさひが丘学園でのたくさんの思い出と職員の皆様の深く大きな愛情に育まれ、A型就労・グループホーム入居という大きな目標にまで到達することができました。こころさんのお母様、祖父母様とともに、心から感謝申し上げます。

こころさんとの出逢いは、中学1年生の時。社会福祉士会の成年後見を担う『ぱあとなあ』に家裁より、未成年後見人推薦依頼があり、私が「未成年後見人」に選任されたことから始まります。

※「未成年後見制度」とは、親権者の死亡などにより親権者が不在となった未成年者を法律的に保護し、支えるための制度。「未成年後見人」は、未成年者の監護・教育等の権利・義務があり、未成年者の財産を管理します。また、行った業務の内容を家庭裁判所に報告します。

ご家族が、母親と同じ年頃の女性でこころさんの成長に寄り添うことができる福祉専門職の候補者をご希望されてのご縁でした。生活はあさひが

丘学園で、教育は特別支援学校で、ご家族も面談などあり、「未成年後見人」の私の支援は月1回の面会と行事への参加、年金口座の通帳管理、必要な事務、進路に伴う相談や面談、金銭管理、ご家族や家裁への報告でした。18歳の成人となった時には、成年後見の申立てを行い、成人後は「保佐人」として、ご家族や支援スタッフの皆様とともに、こころさんをサポートして参ります。

※「保佐人」とは、「被保佐人」の意思を尊重して、その判断能力を補い、本人の身の上や財産に関する法律行為を助け、保護し権利や利益を守る人。

ひと月ごとの面会や、学園・学校行事で会うこころさんはしっかりと自分や友人、先生方や職員の皆様と向きあい心身ともに成長しました。最も安心し喜んでおられるのは、お母様やおじい様、おばあ様だと思います。

これからも、こころさんが笑顔で幸福に健康に自分の人生を歩んでいけるよう、多くの方々の愛情と支えをつなげていきます。

末筆になりましたが、あさひが丘学園の理事長先生はじめ職員の皆様、ご利用者様、ご家族様のご多幸をお祈りしています。

鹿児島中央ライオンズクラブ豆まき

2月4日（日）、鹿児島中央ライオンズクラブの皆さんによる豆まきが行われました。鬼のお面を付けたボランティアの方の姿を見て逃げ出す子や今にも泣きだしそうな子がいる一方、声高らかに「鬼は外！ 福は内！」と走りながら豆をまく子などで、体育館はあっという間に大きな声に包まれました。最初は怖がっていた子どももいつの間にか体育館の中央に出てきて、ボランティアの方と一緒に笑顔で豆まきに興じる姿があちこちで見られました。

最後は鹿児島中央ライオンズクラブの皆さんから子ども達一人ひとりにお菓子をいただき閉会となりました。子ども達からも「楽しかった！」「また来年も待ってます」などの言葉が聞かれ、楽しい会となりました。今年もありがとうございました。



音楽ワークショップ

令和5年10月から月1回ずつ計4回、リズムコミュニケーターの森田孝一郎氏を講師としてお招きした音楽ワークショップが開催され、その集大成として、2月11日（日）にあさひが丘学園体育館にて、講師である森田氏と鹿児島市立少年合唱隊の皆さんをお招きしての発表会が催されました。なかなか聴く機会の少ない合唱の調べに耳を傾けたり、大勢の人の前で打楽器を演奏したりと、普段はなかなかできない経験をすることが出来ました。参加された利用者の皆さんは、笑顔いっぱい楽しく参加されていました。またの機会を楽しみにしています。



トピックス TOPIX

●高木バンドクリスマスコンサート

12月9日（土）にあさひが丘学園にて高木バンドクリスマスコンサートが開催されました。クリスマス色に飾られた体育館で、マジックやフルート演奏などの華やかなパフォーマンスで始まり、様々な音楽を楽しみながら最後は出演者の方と利用者の方々が一緒になってダンスを行い、会場は一体感に包まれました。楽しいひとときをありがとうございました。

●YPOコンサート

12月17日（日）、宝山ホールにてよしだポップスオーケストラによるコンサートが開催されました。皆さんとても楽しみにしており、曲が始まると、声を出して歌う方、リズムに合わせて体を動かし楽しむ姿などがみられ、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。ご招待いただきありがとうございました。

●関係機関研修会

1月10日（水）、マルヤガーデンズにて関係機関研修会を実施しました。当日は児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、幼稚園、保育園、学校等の関係機関34施設、37名の方にご参加いただきました。公認心理師によるソーシャルストーリーについての講話と事例発表を通してグループディスカッションを行い、学びを深める機会となりました。

●児発・放デイ合同保護者会

1月20日（土）児童発達支援、放課後等デイサービス合同保護者会を実施し、51名の方にご参加いただきました。当日は現在、教育相談員の阿久根剛氏より、「特別支援教育の現状と持続可能な支援の在り方について」講

話をいただきました。その後の茶話会では和気あいあいとした雰囲気の中、意見交換が行われました。

●療育発表会

1月27日（土）マルヤガーデンズにて、歩路、希路、セルク、トリア、ルウ合同での療育発表会を実施しました。いつもと違う環境や雰囲気に戸惑うお子さまもいましたが、笑顔溢れる一日となり、日頃の療育の様子を見ていただくよい機会となりました。

●青空市

2月17日（土）第11回青空市を開催しました。当日は天候にも恵まれ、開所日ということもあり多くの利用者が参加しています。駄菓子や焼き芋などを購入し、美味しそうに食べる姿に心を癒されました。地域の方の協力で野菜も販売しましたが、近隣の方の姿が少なかったのは残念でした。次年度以降、地域の方との連携をさらに深め、より地域に根ざしたイベントとなるよう努めていきたいと思っております。開催の際は皆様にもお知らせしますので、盛り上げに是非一役買って下さい。

●家族職員懇談会

2月23日（金）、パーティーホールHINATAにて家族職員懇談会を実施しました。あさひが丘家族会のご家族25名の方にご参加いただき、職員含め60名程の参加となりました。4年ぶりの開催で新任職員や勤続10年目職員の話題などを交えながらに色んな話に花が咲いていました。ご参加いただきありがとうございました。

経営理念を実践へ ～社会福祉法人落穂会「実践報告」のご紹介～



落穂会では、毎月の職員会議で行われる「職員研修」の時間を活用して、「実践報告」を行っています。これは、日々、利用者の皆様に向き合う中で、「もっとこうすればより良い支援につながるのではないか」という観点から実践している取り組みを整理し、発表するものです。

令和2年度より、実践報告の仕組みを見直し、発表者は自ら立候補する形の「手挙げ式」を導入し、各発表者を「経営理念への一致度合」や「実効性」などの観点から総合的に審査し、表彰する制度も取り入れています。

日々の取り組みを発表することで、成果を可視化し、利用者の皆様の充実した生活や成長を分かち合うことができ、また、支援者としても再現性が高まる効果があると感じています。

今回の落穂会だよりでは、令和6年度の最優秀賞（ゴールデングランプリ賞）に選ばれたエントリーをご紹介します。

令和6年度ゴールデングランプリ賞

●発表タイトル

主導権を握った先手の支援でつながる「こころの絆」
～愛着障害の子どもへのアプローチ～

●報告者：こどもサポートセンターあさひが丘 山元真理子・福留央奈乃・菅屋達樹

●発表日：令和6年1月23日

審査員コメント

今回の発表では、「愛着障害」を主眼に置き、日々の療育において、こども達にとっての「安全基地」をどのようにつくっていくかというプロセスを紹介してくれました。

令和6年度より「あったかタイム」と称するわらべ歌に合わせて職員と子どもたちが適度なスキンシップを図るプログラムを継続的に行うことで、愛着（アタッチメント）を育むことを目指しています。

本発表では、あったかタイムを通じて子どもの様子がどのように変化していったのかという成果とその要因が丁寧に考察されていました。特に、キーパーソン・サブキーパーソンの存在やイニシアチブ（主導権）をとったかかわりの重要性が大切だと整理されており、他事業所でも活用できる学び多き発表でした。

来年度以降も、この落穂会だよりで実践報告の受賞エントリーをご紹介をさせていただければと考えていますので楽しみに！

20歳のお祝い

毎日楽しいです。夢はスマホを
買うことと、職員になること
です。
元気に頑張ります。



日高 成葉 さん

菓子作業とベプシの仕事が
楽しいです。
色々なところにお出かけを
したいです。



秋元 千京 さん

毎日、元気に楽しく過ごした
いです。
仕事も余暇も頑張ります！



上山 滉平 さん

オーガニックのパンケーキ粉に豆乳や抹茶を入れて、銅板で焼き上げた鮮やかなグリーンの『抹茶パンケーキ』です。銅板で焼き上げることで、素早くしっかり中まで火が通り、水分をとばさずにふっくらしっとり仕上がります。生クリーム、メープルシロップ、粒あん、わらび餅、バター…と5種類のトッピングが付いて、たくさんの味の変化を楽しめるパンケーキとなっています！
お近くまで来られた際は、是非あすもね家にお運び下さい☺

〒892-0853 鹿児島市城山5-1
かごしまメルヘン館喫茶室

☎070-8823-0051

営業時間 平日 11:00～17:00 (L.O 16:30)
※土日祝 10:00～17:00 (L.O 16:30)
定休日 火曜日 (※メルヘン館の営業日に準ずる)



抹茶パンケーキ 880円 (税込)

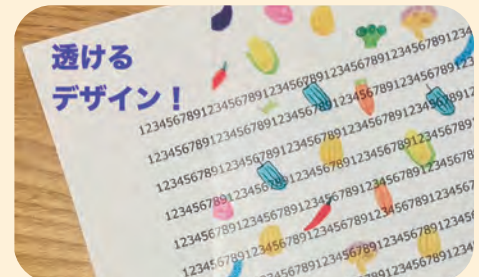
ぎやらりーASAHIYAからのお知らせ

ASAHIYAクリアファイル販売開始！！

利用者の皆さんがデザインした果物や野菜のイラストが散りばめられた可愛い仕上がり。ファイルの片面は中身の確認がしやすい透かしの入ったデザイン。反対面は白色で中身が目立ちにくいデザインとなっており、デザイン性だけではなく、使い勝手の良い商品となりました。ご自身用、またはご友人やご家族へのささやかな贈り物として選んでいただけると幸いです。

ASAHIYA クリアファイル 200円 (税込)

ぎやらりーASAHIYA
CHECK インスタ絶賛更新中！
【#gallery_asahiya】



社会福祉法人落穂会の事業所一覧

- (1) 障害児入所施設あさひが丘学園 (入所28名・短期入所8名)
- (2) 障害者支援施設あさひが丘 (施設入所支援40名・生活介護92名・短期入所10名・日中一時支援)
- (3) 地域生活支援センターあさひが丘
 - ① 児童発達支援センター歩路 (児童発達支援20名・放課後等デイサービス20名・保育所等訪問支援・日中一時支援)
 - ② ワークショップあすもね (就労継続支援B型30名 (主たる事業所20名・従たる事業所10名)・生活介護10名)
 - ③ あさひが丘相談支援センター (指定一般・特定・障害児相談支援事業)
- (4) グループホームあさひが丘
 - ① 介護サービス包括型共同生活援助 (8ホーム53名)
 - ② ヘルパーステーションとわ (居宅介護・行動援護・移動支援)
- (5) こどもサポートセンターゆうひが丘 (児童発達支援10名・放課後等デイサービス20名・保育所等訪問支援)
- (6) ガーデンキッズセルク (児童発達支援20名・保育所等訪問支援)
- (7) ガーデンキッズトリア (児童発達支援10名・放課後等デイサービス10名・保育所等訪問支援)
- (8) あさひが丘乗馬倶楽部「シュバル」 (放課後等デイサービス10名・保育所等訪問支援)
- (9) ランソ (放課後等デイサービス10名・保育所等訪問支援)
- (10) こどもサポートセンターあさひが丘 (児童発達支援10名・放課後等デイサービス10名・保育所等訪問支援)
- (11) こどもサポートセンタースクラブ (児童発達支援・放課後等デイサービス 計10名・保育所等訪問支援)



社会福祉法人 落穂会
鹿児島市皆与志町 2503 番地
<http://www.asahigaokagakuen.jp/>
<http://www.asahi-center.or.jp/>

障害児入所施設
あさひが丘学園
TEL 099-238-4821

障害者支援施設
あさひが丘
TEL 099-238-4821

地域生活支援センター
あさひが丘
TEL 099-243-1112